

じぞうくんのそぼくな疑問



じぞうくんのところに
かもくんが
やってきました。



- じぞう 6月6日(月)～6月9日(木)は特別整理休館で、
 巢鴨図書館はお休みなんだって。
- かも もうそんな時期なんですね。じぞうさんはその期
 間に図書館が何をしているか知ってますか？
- じぞう みんなで旅行とか？
- かも それいいですね。でも不正解です。働いてます。
 主に「蔵書点検」をしていますよ。
- じぞう 「蔵書点検」？
- かも 「蔵書点検」は、年に一度、書架にある全ての本
 のデータを読み取って、所定の場所にはない本がど
 れかを特定する作業です。
- じぞう 並んでいる本全部？
- かも そう。全部です。閉架といって倉庫にある本も全
 部チェックするんです。そういえば、司書の間で
 は、特別整理休館のことを「曝書(バクショ)」って
 言ったりします。
- じぞう バクショ？司書が不満を爆発させるくらい疲れる
 から？
- かも いいえ！そんな！「曝書」です。
 本来は「書物の虫ぼし」を指す言葉ですが、今で
 も昔の名残りで蔵書点検を曝書と呼んでるんです。
- じぞう へえ！
- かも 蔵書点検だけでなく、普段できない大きな棚の移
 動や大掃除をして、気持ちよく利用して頂けるよ
 う準備をしています。

じぞうくんが読んだ本はこちら

『図書館のひみつ』
 高田高史/監修 PHP研究所
 (O10)

『広辞苑 第7版』
 新村出/編 岩波書店
 (R813 コ)

6月の行事

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
新刊 お話し会	休館	休館	休館	休館		
12	13	14	15	16	17	18
新刊 お話し会						
19	20	21	22	23	24	25
新刊 お話し会					休館	
26	27	28	29	30		
新刊 お話し会						

<日曜>新刊本が出ます！
 新刊コーナーにご注目！
 11時から、幼児から小学生低学年
 向けのお話会もしています。

今月は、6日～9日まで特別整理期間で、お休
 みをいただきます。ご不便をおかけいたします
 が、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

私たちのエプロンに、「司書バッチ」
 がついたのを、気づいていただけました
 か？
 「なんでもお気軽にお問合せください。」
 のサインです！

(M)

すがもらいぶらり

2022年6月5日巢鴨図書館発行

すがもがーでんクイズ

今回は、一足早く
 夏野菜クイズです。
 これは何？



1



2



3



4



巢鴨図書館の前庭（すがもがーでん）で、
 育てている野菜たちです。
 どんな実がなるか楽しみにしててください。
 さて、クイズの正解は…

ㄗ ㄒ ㄗ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ
 ㄗ ㄒ ㄗ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ
 ㄗ ㄒ ㄗ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ
 ㄗ ㄒ ㄗ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ ㄒ



じぞうくん

すがもがーでん、
 もう一つの魅力は
 道路に面したポスト
 周りですよ！

イラスト作 S

食いしん坊司書の部屋



今回のゲストは、
2年ぶりに
巣鴨に戻ってきて
くれた癒し系司書
Mさんです。

6月と言えば梅雨…蒸し暑い季節はだるさとの戦い。
そこで、今回はそんな季節にふさわしいあの飲み物の話を聞きました。

酒豪の噂もあるMさんですが、今のマイブームは、「クラフトビール」とのこと。少し前までは、限られたビール好きの人が飲むイメージだったのが、今は瓶や缶のものも増え、スーパーでも気軽に買えるようになっているそうです。言われてみるとその通り！ビール通でない私も、見かけるとついついラベル買いしていたりすることに気づきました。そこで、そんなビールを楽しむとっておきの飲み方を教えてもらいました。

ワイングラス（←赤ワイン用がおすすめ）に入れて、香りを楽しみながらゆっくり味わって飲むのだそうです。一気にガーッと飲むおじさん飲みは、クラフトビールには似合いません！注ぎ方で泡の様子も変わるので、小さな泡が出れば一段とおいしくなるそうです。ワイングラス+注ぎ方で美しい泡ができるですよ～。

そして、おつまみには、特にこだわりはないと言いつつも、「香味野菜にハム、にんじん等をちりばめたサラダ」を紹介してくれました。すてきなビールタイムが浮かびます。どんな食事にもあうところもビールの欠かせない魅力とのこと。確におっしゃる通り！飲みすぎ・食べすぎに注意しながら、おしゃれクラフトビールにチャレンジしてみたいと思います。

おすすめ本

『ビールのペアリングがよくわかる本 — 料理とのおいしい関係！』

野田幾子／監修 シンコーミュージック・エンタテイメント（588 ヒ）

『エンジョイ！クラフトビール — 人生最高の一杯を求めて』

スコット・マーフィー／著・岩田リョウコ／著 角川（588 マ）

『お酒とフォークがとまらないアベロとツマミ』

渡辺麻紀／著 主婦の友社（596 フ）

じぞうさんぽ

＜アトリエ村ってどこですか？ 要町・千早編＞

3月号に続き、長崎アトリエ村探訪その2。今回は、要町と千早に点在するアトリエ村跡を巡ります。出発は、有楽町線要町駅。1番出口から、すぐ右前方のえびす通り商店街へ。昔ながらの商店街を2分ほど歩き、左手に「要町1-39」と表示された電柱の角を左折。くねくねと続く細道（通称「へび道」）を進むと、**すすめが丘アトリエ村跡**のプレートが民家の塀に掲示されています（木製の門扉やテラスが素敵なお家だと思ったら、要町あさやけ子ども食堂さんでした）。ここは、最初にアトリエ村ができた場所。1928年、この界隈の地主だった奈良慶が、画家志望の孫のアトリエを建て、その後、彼の友人たちのために十数軒のアトリエ付き住居を建てたことが始まりだそうです（「村」になったのは1931年ごろ）。画家の**松本峻介**や**高山良策**などが住んでいました。

へび道の突き当りを左折すると、先にある路地の真ん中に、大きな四角いコンクリートの塊を発見。実はこれ、井戸の跡なのだそう。路地の手前の角を右折し、少し歩くと、バラの花に囲まれたアパートの塀に**培風寮跡**のプレートが。ここは1924年、詩人の**花岡謙二**が関東大震災の直後に建てた下宿屋**培風寮**の跡地。居住者は、画家の**靄光**など。多くの芸術家の卵や文学青年たちが集っていたそうです。

培風寮跡から、進行方向に直進。突き当りを右折し、庚申塔のある角を左折。そのまま要町通りを渡り、最初の十字路（西部区民事務所のグラウンド側の角。ここから千早）に差し掛かると、左手に一面蔦で覆われた一軒家が現れました。ここは彫刻家**峯孝**の旧宅。現存する数少ない**アトリエ付き住宅**の一つです。アトリエの特徴として、常に安定した明るさを得られるよう、北向きの屋根に大きな天窗が設けられています。**つつじが丘アトリエ村跡**のプレートの隣に**峯孝作品展覧館**の看板もあるのですが、東日本大震災以来、長期休館中だとか。ちょっと残念です。

峯孝旧宅の前を通過し、3つ目の交差点を右折。最後の目的地、**豊島区立熊谷守一美術館**に到着です。ここは、画家**熊谷守一**の旧宅跡。1932年から1977年に亡くなるまで、45年間暮らしていました。守一はアトリエ村の住人たちに先生のように慕われ、よく相談に乗っていたそうです。美術館は1985年開館。2007年に豊島区立美術館になりました。現在、37周年展開催中（7月3日まで）。お散歩がてら、気軽に芸術鑑賞はいかがでしょうか？

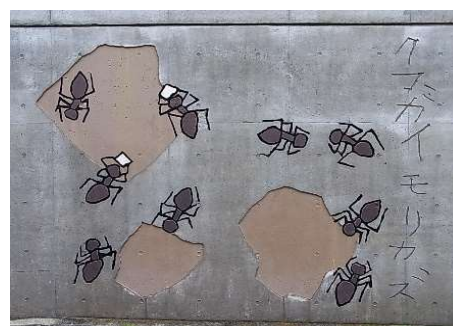
※今回のコースは、『としま案内人長崎町ガイドツアー 池袋モンパルナス・長崎アトリエ村跡そぞろ歩き』の内容を参考にさせていただきました。ありがとうございました。



＜峯孝旧宅＞



＜井戸の跡＞



＜熊谷守一美術館＞

旅のお供に
ふさわしい図書館
蔵書をご紹介します

ともぼん お供本

『池袋モンパルナス』
宇佐美承／著 集英社（K0 916）

『培風寮/花岡謙二と靄光』
尾崎真人／監修・編集 オクターブ（K0 910）

『もっと知りたい熊谷守一』
池田良平／監修・著 蔵屋美香／著 東京美術（723 ク）